

中3入試必勝ゼミは【入試直前期に行う1ヶ月間の短期講座】

君の合格を決める！

中3入試必勝ゼミ

① 学力のピークを入試日に！

入試必勝ゼミ <総合編>

1/15(木)～2/16(月)

入試予想問題の徹底演習

5教科の全範囲を網羅し、出題形式ごとに予想問題演習を行います。

北海道入試に完全合致

他塾に真似できない分析力。毎年、的中問題を連発！

入試必勝ゼミ <完成編>

2/17(火)～3月下旬

合格答案作成術の伝授

直前総仕上げ授業+「入試予想テスト」を用いた、減点されない答案作成法の秘訣を教えます。

入試後は高校の準備

合格がゴールではありません。英語・数学の先取りで好スタートをサポートします。



必勝



冬期講習会が終われば、入試まであと50日を切っています。この限られた時間に、入試の範囲である中学3年間の全内容をいかに効率良く復習するかが勝利のカギとなります。

北京大学力増進会では、「入試必勝ゼミ（継続授業）」で、この時期にするべき学習をすべて提供します！

入試前は「勉強」ではなく、「対策」を！

今日から入試までの間の約2ヶ月は、今までの2ヶ月とはわけが違う。学習時間、学習内容がそのまま合格に直結しなければ意味がない。増進会では必勝ゼミから入試までを「合格50日作戦」と位置付けて、北海道の入試問題を徹底分析し、予想問題を作成した。「もしかしたら入試で出題されるかもしれない」、すべての問題を解く時にそう思って真剣に取り組もう。

■必勝ゼミは「入試予想問題集」による実戦演習

入試傾向を踏まえつつ、**全範囲**の重要事項を効率よく復習できる。

- ① 過去10年以上もの入試問題データより、
- ② 出題頻度（回数）の高い問題を選別し編集
- ③ 講師からのワンポイントアドバイス
- ④ 解答テクニックを伝授

この時期だから教えることができる解法があります。

■必勝ゼミは出題形式別問題演習

出題形式ごとにどういう解き方をすればよいか、確認の仕方など、点数に直結する学習ができる。
【英語の例】

- ①適語補充問題…（ ）の穴埋め問題
- ②整序問題…語句などの並び替え問題
- ③和訳・英作問題…日本語訳と英作文の問題
- ④記述問題…国語の字数制限問題や英語の文意を読み取る問題など

総時限数 62 時限、時間にして 3,400 分のボリューム！この充実した内容は、他塾に決して真似することは出来ません。50 年以上にわたって高校入試を研究してきた北京大学力増進会が贈る、受験勉強の集大成がここにあります。これだけやるから毎年入試に同じ問題が出題され、先輩達は高得点をマークしてきたのです。

【モデル時間割】

日	月	火	水	木	金	土
11	12	13 あと 50 日	14	15	16	17 120 分 必勝ゼミ
18	19 120 分 必勝ゼミ	20	21 120 分 必勝ゼミ	22	23 あと 40 日	24 120 分 必勝ゼミ
25	26 120 分 必勝ゼミ	27	28 120 分 必勝ゼミ	29	30	31 120 分 必勝ゼミ
2/1	2 120 分 必勝ゼミ あと 30 日	3	4 120 分 必勝ゼミ	5	6	7 120 分 必勝ゼミ
8	9 120 分 必勝ゼミ	10	11 120 分 必勝ゼミ	12 あと 20 日	13	14 120 分 必勝ゼミ
15	16 120 分 必勝ゼミ	17	18 120 分 必勝ゼミ	19	20	21 120 分 必勝ゼミ
22 あと 10 日	23 120 分 必勝ゼミ	24	25 200 分 必勝ゼミ 3 月分授業前倒	26 200 分 必勝ゼミ 3 月分授業前倒	27 あと 5 日	28 200 分 必勝ゼミ 3 月分授業前倒
3/1 200 分 必勝ゼミ 3 月分授業前倒	3/2 200 分 必勝ゼミ 3 月分授業前倒	3	4 公立高入試	5	6	7
8	9	10	11 90 分 新高 1 数学	12	13	14 90 分 新高 1 英語
15	16	17 公立高 合格発表	18 90 分 新高 1 数学	19	20	21 90 分 新高 1 英語

入試必勝ゼミ <総合編>

総時間数 **1680 分**

数学・英語・国語・理社の教科担当講師が指導します。記述問題や作図問題もガッチャリ指導！

入試必勝ゼミ <完成編>

総時間数 **1720 分**

5 教科各教科担当講師が指導します。入試後は英語と数学の先取り学習で高校スタートを支援します。

入試的中率NO.1講座【総合編】のみの受講もできます。

上記日程は、集団指導の必勝ゼミのモデル時間割になります。個別指導の入試必勝ゼミも開講しています。詳細はお問い合わせください！

～最後に～

入試対策とは、知っている、わかる、解ける、といったレベルの話ではありません。

入試傾向、出題傾向、入試情報、効果的学習方法など、入試に必要な要素をすべて組み合わせて、「合格点を取れる力を持つこと」です。「入試の日に自己最高点を出すために、いつ、何を、どれだけやるのか」を明確にし、それを確実に実行しましょう。合格を確実にしたいのならそれが一番効果的ですし、大逆転をねらうならもうそれしか方法はありません。キミにとっては初めての入試。でも北京大学力増進会の先生にとっては毎年のこと。今年も合格するためにキミに必要なものはすべて揃えてあります。

あとはキミがこの空間でがんばるかどうかです。絶対に合格しよう。

創立以来合格者累計 札幌南 6,500 名超 札幌北 6,400 名超

小1から高3まで一貫指導の総合学習塾！中学受験・高校受験・大学受験は増進会！



札幌4本部共通ダイヤル

TEL 011-777-5959

札幌西本部 中央区・西区・手稲区

札幌北本部 北区・東区・石狩市

TEL (011) 612-5555

TEL (011) 727-5555

SHIN GAKU KAI 北大学力増進会

FAX 011-865-5071

札幌南本部 南区・豊平区・清田区

札幌東本部 白石区・厚別区・北広島市・江別市

TEL (011) 823-5555

TEL (011) 863-5555

「中3 入試必勝ゼミ」で大きな自信と真の合格力を！

冬期講習が終わるころ、
公立高入試日まで残り約 50 日。

5教科×3年分をどうやって勉強するか
悩んで当然だと思います。

大切なことは「入試傾向に沿って、出題頻度が
高い問題を徹底して練習する」ことです。

効率良く勉強しなければいけないのはわかっている
と思いますが、最後は受験を知り尽くした先生たちと
一緒に頑張って合格の達成感をつかみ取ってください！



●まとめのページもあるので、短期間で
分野ごとの最終チェックができます。

第3講 関数 I 関数の式・基礎確認事項

..... 入試必出チェックポイント

① 直線(1次関数)の式 $\cdots y=ax+b$ の a と b を求める。

a : 傾き, , x の係数 b : 切片 (y 軸上の交点), 定数項

② 放物線(2乗に比例する関数)の式 $\cdots y=ax^2$ に通る点 (x, y) の値を代入する。

(例) 2次関数 $y=ax^2$ が点 $(2, 1)$ を通るときの a の値は

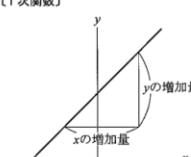
③ 変化の割合 $\cdots \frac{y \text{の増加量}}{x \text{の増加量}}$ のこと。

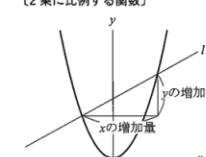
☆ x が p から q まで増加するときの変化の割合は

x の増加量	y の増加量	変化の割合
1次関数 $(y=ax+b)$	$q-p$	$\frac{aq-ap}{q-p} = a$
2乗に比例 $(y=ax^2)$	$q-p$	$\frac{aq^2-ap^2}{q-p} = a(p+q)$

(例) 1次関数 $y=3x-5$ と, 2次関数 $y=3x^2$ において, x が -1 から 5 まで増加するときの変化の割合は, それぞれ と である。

④ 変化の割合と直線の傾きの関係 \cdots 変化の割合がグラフの何を表すかを押さえる。

[1次関数] 
☆ $\frac{y \text{の増加量}}{x \text{の増加量}}$ は直線の傾きとなる。

[2乗に比例する関数] 
☆ $\frac{y \text{の増加量}}{x \text{の増加量}}$ は直線Iの傾きとなる。

予想問題題

□□① 右の図で, 点Pは, $A(0, 1)$ を通って x 軸に平行な直線と, 放物線 $y=\frac{1}{4}x^2$ との交点で, x 座標は正である。点Qは, 点Pを通って y 軸に平行な直線と放物線 $y=ax^2$ ($a>0$) との交点である。このとき, 次の問い合わせに答えなさい。

□□(1) 点Pの x 座標を求めなさい。

□□(2) 線分AQの長さが $\sqrt{5}$ のとき, a の値を求めなさい。

まとめで確認した後は、予想問題で入試レベルを徹底演習。

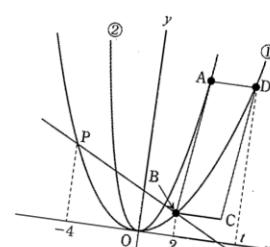
解けない問題があつても経験値を増やすことで、入試当日、問題を解く優先順位などの解答テクニックが身につきます。やるしかないです。

□□② は関数 $y=x^2$ のグラフである。点P, B, Dは①上にあって, それぞれの x 座標は $-4, 2, 1$ である。点Aは②上の x 座標が正である点であり, 四角形ABCDは, ADが x 軸に平行な平行四辺形である。また, 直線PBの傾きは, $-\frac{1}{2}$ である。 $t>2$ として, 次の問い合わせに答えなさい。

□□(1) a の値を求めなさい。

□□(2) $t=3$ のとき, 平行四辺形ABCDの面積を求めなさい。

□□(3) 平行四辺形ABCDが長方形になると, 長方形ABCDの面積を求めなさい。



毎年、必勝ゼミテキストから 『そっくりな問題が出題された！』と好評です！

2025年度公立高入試 ⑤ 問2

問3 図3のように、図1の正方形ABCDの辺AB, BC上に、それぞれ点E, Fを、図3 A E = 3cm, F C = 2cmとなるようにします。五角形AEFCの辺の上に点Qがあります。点Qは、頂点Aを矢印の方向に動かして、五角形AEFCの辺を毎秒4cmの速さで、ループにしたがって動くものとします。

(ルール)

- [ルール1] 点Qは、大小2つのさいころを同時に投げたときの出た目の数の和をもとに、五角形AEFCの辺上を動かします。
- [ルール2] 出た目の和を点Qが動く秒数とし、点Qは、和の秒数の間だけ五角形AEFCの辺上を動いて止まります。

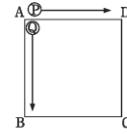
例えば、大きいさいころの出た目の数が2、小さいさいころの出た目の数が3のとき、点Qは、5秒間だけ五角形AEFCの辺上を動いて止まります。

大小2つのさいころを同時に投げたとき、点Qが辺CD上に止まる確率を求めなさい。

完全的中！

入試必勝ゼミテキスト

□□□③ 図のように、正方形ABCDの頂点Aの位置に2点P, Qがある。いま大小2個のサイコロを同時に投げて、大きいサイコロの出た目の数だけ点Qを左回りに、それぞれ正方形の頂点の上を順に進めるものとする。この2個のサイコロを同時に1回投げると、次の問に答えなさい。



□□□① 2点P, Qがともに頂点Dで止まる確率を求めなさい。

□□□② 2点P, Qがともに正方形の同じ頂点で止まる確率を求めなさい。

□□□③ 2点P, Qが正方形の隣り合う頂点で止まる確率を求めなさい。

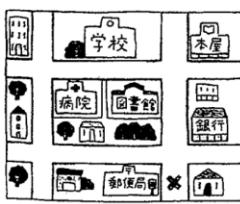
さいごろ2個の確率と图形の融合問題は
対策済でした！

一人では学習しづらい英語の図表を用いた類題も
しっかり学習。

2 地図の読み方

(1) 地図で使われる言葉

□ street	道路（街路）
□ way	道
□ crossing	交差点
□ corner	（曲がり）角
□ (traffic) light	信号（機）
□ green (light)	青（信号）
□ yellow (light)	黄（信号）
□ red (light)	赤（信号）
□ straight	まっすぐ
□ along ~	～に沿って
□ right	右（～）
□ left	左（～）



(2) 道案

① 道をたずねる（下へいくほどいねいな表現）

Where is the hospital?

I'm looking for the hospital.

How can I get to the hospital?

Excuse me. Could you tell me the way to the hospital?

病院はどこですか。

病院を探しているのですか。

病院へはどう行つたらいいですか。

すみません。病院へ行く道を教えていただけませんか。

理科の入試は、ほぼ実験・観察から出題。

入試必勝ゼミでは
そのようなタイプの
類題を徹底演習。

難しい問題もある
かも知れませんが、
これが入試の傾向
です。

がんばろう。

□□□④ 次の実験について、問い合わせなさい。

電流と磁界の関係を調べるために、フィルムケースにエナメル線を巻いたコイルを作り、次の実験を行った。

実験1 図1のように、間隔をわずかにあけて2つのコイルを直線状に並べ、実験装置を組み立てた。スイッチを入れてコイルに電流を流したところ、コイルは互いに反発して少し離れた。なお、図中の拡大図は、右側のコイルの巻かれた向きを示したものである。

実験2 図2のようになる装置を外した片方のコイルに検流計をつけたところ、検流計の針は0の向き（右）に振れた。

実験3 コイルに検流計をつけたままに右側の磁石を向いて向きに、N極をコイルに向けて固定した。この状態から、図2の点線で示すように磁石にぶつからない範囲でコイルを振り子のようによじ左右に振らされた。

□□□① 実験1の結果から、図1の装置における左側のコイルについて、コイルの巻かれた向きとスイッチを入れたときにコイルのA端を流れる電流の向き（矢印の向き）を正しくしているものを、右のア～から選びなさい。

示しているものを、右のア～から選びなさい。
ア～から選びなさい。
ただし、地球の磁場の影響を考慮すれば、エ～から選びなさい。

ただし、地球の磁場の影響を考慮すれば、エ～から選びなさい。

選ぶべきは、左側のコイルの巻かれた向き。

選